

グッドカンパニー大賞

マルマン(弘前)特別賞

先進的システム開発評価

弘前市のソフトウェア開

発業「マルマンコンピューターサービス」が本年度、公益社団法人中小企業研究センターの「グッドカンパニー大賞」特別賞を受賞した。県内企業の受賞は2004



長内睦郎社長 彰式が行わ

年度以来8社目。来年2月に東京都の経団連ホールで表

れる。

同賞は、社会的、経済的に優れた成果を上げた中小企業や協同組合などを表彰するもので、本年度で50回目。経済産業省や文部科学省、日本商工会議所などの推薦をもとに受賞先を選考している。

同センターが1日、本年度の受賞企業をホームページで公表した。全国約300社の中からグランプリ、

優秀企業賞、特別賞に計14社が選出された。

マルマンは、文科省の革新的イノベーション創出プログラム拠点事業(COIPプロジェクト)の採択を受け、弘前大学などと連携し住民健康情報に関するソフト開発を手掛けたほか、東京大学付属病院と救急システム開発に取り組むなど先進的な活動が評価された。

同社の長内睦郎社長(63)は「受賞は大変光栄。データ処理事業は今後も伸びていく分野。社会貢献につなげたい」と喜びを語った。

(秋元宏宣)